

科目ナンバー：(A) CC UAA 9 703、(B) CC UAA 9 704

<p style="text-align: center;"><b>事業創造演習 A、B</b></p> <p style="text-align: center;">Seminar on Creation of New Business/Entrepreneurship</p>	<p>(教員名) 新藤 晴臣、近 勝彦、小沢 貴史、 小関 珠音</p>	
<p>事業創造研究領域 演習科目</p>	<p>演習科目</p>	<p>必修</p>
	<p>各 2 単位</p>	<p>2018 年度 Aは前期、Bは後期</p>
<p><b>I 科目の主題</b></p> <p>事業の創出を促進し、発展・継続させる制度的背景や条件等を主たる研究対象とする。一例としては、新しいアイデアや技術と既存の産業基盤との融合による新たな事業創造のプロセス、小規模組織の新規事業展開に関する仕組み、イノベーションを発生・進展させるメカニズム、アントレプレナーシップと経営の関係性、経済活動を促進する事業環境整備のあり方、などを研究する。</p>		
<p><b>II 授業の到達目標</b></p> <p>事業の創出を促進し、発展・継続させる制度的背景や条件について、少人数の議論を通じて、理論的に深く理解することを目標とする。</p>		
<p><b>III 授業内容・授業計画</b></p> <p>従来の研究内容を例示すると、以下の通りとなる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 新事業創造</li> <li>2 地域活性化</li> <li>3 イノベーションと事業経営</li> <li>4 産業集積</li> <li>5 コンテンツビジネス</li> <li>6 デジタル著作権管理</li> <li>7 アントレプレナーシップ</li> </ol>		
<p><b>IV 事前・事後の学習内容</b></p> <p>受講生は、各自の研究についてまとめた上、定期的に報告することが求められる。報告の際に得られたフィードバックをもとに、各自の研究をさらに深めていくことが必要となる。</p>		
<p><b>V 成績評価の方法</b></p> <p>期末レポートにより評価する。</p>		
<p><b>VI 受講生へのコメント</b></p> <p>論文執筆・作成に向けたあらゆる努力を惜しまないことを希望する。</p>		
<p><b>IV 教材</b></p> <p>講義の中で指示する。</p>		